

第1回 第3次防府市スポーツ推進計画策定委員会 議事録等

■開催日時・場所

令和6年12月23日（月）14時00分～15時15分
防府市文化財郷土資料館2階講座室

■次第

- 1 挨拶
- 2 委員自己紹介
- 3 委員長及び副委員長の選任
- 4 議題
 - (1) 第2次防府市スポーツ推進計画について
 - (2) 第3次防府市スポーツ推進計画の策定方針
 - (3) 第3次防府市スポーツ推進計画の策定スケジュール
 - (4) 策定に係るアンケート調査（案）
 - 1 18歳以上
 - 2 障害者手帳所有者
 - 3 中学2年生
 - 4 小学5年生
- 5 その他

■配布資料

第1回第3次防府市スポーツ推進計画策定委員会 次第
防府市スポーツ推進計画策定委員会 設置要綱
防府市スポーツ推進計画策定委員会 委員名簿
防府市スポーツ推進計画策定委員会 資料【資料1～4-4】

■出席者名簿

	所属団体・役職	氏名	出欠
学識経験者	周南公立大学 人間健康科学部 准教授	瀬尾賢一郎	出席
スポーツ 団体 関係者	防府市スポーツ協会 副会長	川口 照雄	出席
	防府市スポーツ協会 常任理事	植野 真生	出席
	防府市スポーツ推進委員連絡協議会	相本 幸	出席
	防府市スポーツ少年団本部 指導者協議会会長	吉田 範夫	出席
	総合型スポーツクラブ防府 会長	坪郷 好夫	出席
学校教育 関係者	防府市小学校体育連盟 理事長	藤井 壮馬	欠席
	防府市中学校体育連盟 理事長	田邊 知靖	出席
その他	防府市老人クラブ連合会 会長	長尾 隆治	出席
	防府市障害福祉団体連合会 会長	中村 信也	出席
	防府市観光コンベンション協会 専務理事	犬塚 要二	出席
公募委員		吉田奈緒美	出席
		荒瀬 香恵	出席
事務局	文化スポーツ観光交流部長	瀬川 博巳	
	文化スポーツ観光交流部次長	田村 裕之	
	文化スポーツ観光交流部 スポーツ振興課長	宇佐川 渉	
	文化スポーツ観光交流部 スポーツ振興課長補佐	田邊 美幸	
	文化スポーツ観光交流部 スポーツ振興課 係長	山崎 良也	
	文化スポーツ観光交流部 スポーツ振興課 係長	沼田 真子	

■議事録

1 開会

(事務局より資料の確認と開会の宣言)

2 あいさつ

(文化スポーツ観光交流部長あいさつ)

3 委員自己紹介

(各委員による自己紹介)

4 事務局自己紹介

(事務局職員の自己紹介)

5 委員長及び副委員長の互選

策定委員会設置要綱第4条第1項により委員による互選。

委員より事務局一任の発言があり、事務局案として、瀬尾委員を委員長に、川口委員を副委員長に推薦。全会一致で瀬尾委員長、川口副委員長を承認。

6 委員長あいさつ

委員長

前回のスポーツ推進計画の見直しはコロナ禍に入ったところだった。その後東京五輪などを経て、スポーツの関わり方も変化してきた。より良いスポーツ生活に向けた計画をと考えている。忌憚のない御意見をいただきたい。

(以後、委員長が議事進行)

委員長

防府市はこのような委員会を原則、公開としている。本委員会においても毎回、公開としたい。また、委員会の議事録については要旨をホームページで公表し、委員の名簿も公表することになる。了承をいただきたい。

委員

全会一致で了承

7 議事

委員長	次第４（１）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	次第４（１）について説明
委員長	第２次防府市スポーツ推進計画について説明があった。 何か意見等あるか。（特になし）
委員長	次第４（２）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	次第４（２）について説明
委員長	第３次防府市スポーツ推進計画の策定方針について説明があった。 第２次推進計画を評価した上で第３次計画を考えていくようになると思うが、評価のタイミングと方法はどのように考えているか。
事務局	今年度アンケートを実施することで前回の数値目標の達成状況やどれくらい成果が上がったのか見えてくる。それをもって今後話していくようになるかと思う。
A委員	この数値目標のみでスポーツ推進計画の進捗を確認するというのは少々荒っぽいのではないか。週１回の運動実施状況が成人の指数となっているが、もう少し実情が分かるような評価があった方が次につながるのではないか。少し物足りない気がする。
事務局	数値目標の項目等について、後ほどアンケートの項目でご説明するが、上位計画である県計画、地域部活動の件などの話が出てくる。その中で他の項目が良いなどの話ができればと思っている。
B委員	数値目標のうち、施設の利用者数にグラウンド利用者数も入っているか。向島のスポーツ広場も入っているか。
事務局	入っている。
B委員	老人クラブのスポーツといえばグラウンドゴルフとペタンクだが、なか

	なか施設が確保できない。今は文化福社会館の前庭でペタンクくらいならできるが、運動広場などは3か月前から確保して予備日も含めた利用料がかかる。もうちょっと何とかならないかと思っている。
事務局	現場の声と実際の利用状況について指定管理者とも話をしていく。課題解決に向かえるように話していく。
B委員	向島は我々年寄りには遠い。新田などの方はいいが、市全体でやる場合、小野などからはとても遠くなる。文化福社会館の前庭が今後スポーツでは利用できないのであれば利用エリアが余計狭まる。何とかならないかと思っている。 教育委員会の施設を利用する場合もあるが、少年のスポーツでも利用しているので利用できることがほとんどない。年寄りのスポーツ関係は今後悩みがより深くなるかと思う。
委員長	高齢者の方にも元気にスポーツをしてもらうために、有益な方策を期待する。
事務局	次第4（3）について説明
委員長	策定スケジュールについて説明があった。何か意見等あるか。
C委員	市民アンケートの対象はどこまでか。特定の年齢層だけか。老人クラブも含む年齢層か。
事務局	後ほどアンケート項目で説明するが、18歳以上で1,500名、小中学生でそれぞれ対象学年の約1,000人、障害者18歳以上で150人の予定。
C委員	防府市は11万人いるのに少ないのではないか。
事務局	アンケートのサンプル数は第2次計画と同じ数で実施。同じように配布し、比較していくため前回同様としている。
C委員	前回と同じ数字で、とあるが、どの程度把握されているか。

事務局	第2次計画24ページ以降に掲載している人数で調査を実施している。この5年間でどれくらい状況が変化したか捉えていきたいと考えている。
C委員	5年経てば皆5歳年を取ることも考慮しているのか。
事務局	している。
委員長	他にございませんでしょうか。 では、続いて次第4（4）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	次第4（4）について説明
委員長	アンケート調査について説明があった。この部分が一番皆様のご意見が必要な部分と思う。
A委員	障害者の調査について、第2次調査の35ページで男女とも「スポーツ活動を行いたいと思うができない」という項目がある。すごくいい項目だが、なぜできないかという項目がないと次の手立ても見えてこないと思う。障害者スポーツについて、「行いたいと思うのにできない」という方について、1項目、記述でもいいから加えられないだろうか。
事務局	資料4－2の1ページ【問5】でスポーツに触れたかどうか、2ページに実際に実施したスポーツ、その動機付け、さらに【問6－3】でスポーツに関われなかった理由を問うこととしている。こちらが有効なのではと思う。
委員長	よろしいでしょうか。 可能であれば、こういった項目があればというのを、今日でなくてもいいので事務局に伝えてもらえたらと思う。他に質問はあるか。
D委員	アンケートは1月中旬に発送し回収、とあるが、中学2年生についてどのようなスケジュールと手法か。
事務局	1月中旬の校長会で説明後、タブレットで回収する予定。

D委員	中体連の理事経由ではなく校長から話があるとのことで承知した。
C委員	先ほどから地域クラブに触れられているが、現在自身が地域クラブに関わる中、色々な問題がある。地域クラブ化すると中学生は運動をする人が少なくなると思っている。令和8年に地域クラブ化したら、運動なくていいならやらない人が増えてくると思う。費用面の負担も増える。部活動の地域移行について協議いただきたい。 また、当事者である中学2年生のアンケートがあまりにも少なすぎると思う。中学生への質問が1番少ない。小学5年生は裏面もあるのに。
事務局	求められている答えはこちらでは難しいと思うが、現在教育委員会で地域クラブ事務局を設置して地域クラブの対応は進めている。学校教育課のホームページにも掲載されているのでそちらを確認いただきたい。 私どもは地域クラブ事務局と連携して動いている。全体の流れで嘘を申し上げるわけにもいかないのでここで留めさせていただけたらと思う。子供たちへの詳しいアンケートは学校教育課が実施するかも知れないが、今回の本アンケートはあくまでスポーツ活動全般について問いかけているとご理解いただきたい。
C委員	学校教育課とはかなりやり取りしている。それを踏まえてこの内容でいいのか聞いている。
事務局	あくまでスポーツ推進計画のアンケートとして実施している。こちらの案については学校教育課とも協議の上作成している。これ以上の項目は必要とされていないのと認識している。
C委員	クラブ管理事務局のことはよく分かっている上で聞いている。クラブ管理事務局へ投げかけないのか。
事務局	投げかけた結果がこちらのアンケートとなっている。
C委員	どの程度のアンケートを学校教育課が実施しているのか聞いてみる。
委員長	今の質問に関連して、スポーツ推進計画の本来的な目的は、現状を知って、国や県の施策と重ね合わせ、防府市民の方がスポーツを楽しく豊かにスポーツを行っていくために、推進計画の中でどうスポーツの環境

を整えていくのか目標を示していくのだと思う。その点で考えれば、今回中学生を含めてアンケートをとって中学生がどうスポーツと関わりをもっていくのか、どれくらいの規模の受け皿を用意しなければいけないのか、どう増やしていくのか、細かくはなくてもある程度これからの方向性を決めていく推進計画と考えている。その視点でいくなれば、C委員が言われた意見もすごく分かる。例えばこのアンケートの中に、中学生自身が部活の地域移行の後、スポーツとどのように関わっていくかという視点も必要かと思う。スポーツはするだけではなく、見るスポーツ、支えるスポーツもある。ボランティアとして関わっていきたいという志向を持った中学生もいると思う。そういう子のためにどういう情報発信をし、こういう場を整えていけばいいかということをこれから1年間かけて整理していくことで良いか。

教育委員会の調査というのはもう少し深掘されたものなのか。

事務局

手元に資料がなく詳しく説明できないが、部活動が地域移行した場合、参加したいか、どういう種目をしたいか等の質問をしている。その辺の意見もこのたびの計画策定にあたっては十分反映できるのではと個人的に感じた。

委員長

では教育委員会のアンケート結果も反映できる可能性はあるということでは良いか。

事務局

そういったデータを示し、皆さんと考えていけたらと思っている。

A委員

先ほどの障害者対象の設問について、スポーツ活動を行いたいと思うができない、という方の【問6-3】について、2のめんどうだから、をのけて、障害者スポーツの場合は支援者がいないとやるチャンスがないことがあるので、そういう項目に変えてもらえたらと思う。

事務局

そのようにさせていただいたらと思う。

E委員

スポーツ推進委員は各地区にいるが、スポーツ推進委員の会議の中で私たちと障害のある方と一緒にイベントができたらいいなという意見があるがなかなか進まない。可能であれば、【問11】に例えばどういったことがしたいか、一般の方向けのアンケートにも障害者と一緒にスポーツしたいですか、のような項目を入れてもらえないだろうか。その結果

	をスポーツ推進委員の会の方にも伝えていきたい。
事務局	そのような方向で検討していきたい。
委員長	前回の調査は500数人の回答となっているが、今回は増やすと。
事務局	配布数は多かったが、回答率でそのようになっている。
委員長	年齢の割り振りについては。
事務局	基本は人口比と思っているが、高齢者の人数が多くなるので、その辺りは調整したいと考えている。
委員長	こちらの意見をまとめて1月中旬に発送するとなれば、今回はほぼ最終となる。それぞれの立場でご意見いただけたらと思うがいかがか。
D委員	中学2年生向けの【問3】あなたはどれくらいスポーツをするのかとあるが、中学生は体育の授業が週に3時間あるので、「体育の授業は除く」とした方が良いと思う。他の調査も同様としている。
事務局	そのようにさせていただく。
F委員	一般18歳以上のアンケートだが、夜勤をしているなど、運動する時間があるかについては問わない予定か。
事務局	そちらは特に伺わない予定としている。
F委員	勤務状況によって、スポーツをやれる状況の人ややれない状況の人もいると思う。そういった方の中にも指導者としてできる人がいるのではと感じている。
G委員	地域のスポーツ少年団の情報など、他の親御さんから聞いて知ることが多い。スポーツできるところの一覧などを知る方法があればと子育てしながら思った。
委員長	現状情報発信はどのようにしているか。

事務局	スポーツ少年団であれば、連絡先を公開しても良いという団体はホームページに載せている。大人の方であれば防府市スポーツ協会の加盟団体一覧も載せており、スポーツ協会に連絡をもらいつないだりしている。
委員長	アクセスできる、つながる、というのは第3期の国の方針にも載っているので、大変貴重な意見だと思う。どう反映できるか分からないが様々なところとつながってもらえたらと思う。
C委員	現在スポーツ少年団、地域クラブの代表もしている。ホームページを見て連絡いただいても、知らない番号だと昨今は不審な電話もあるので出たくないこともある。お母さん方も、相手を不安にさせないようにアクセスできる方法で配慮をお願いできたらと思う。
F委員	学校ごとで競技種目があるところとないところがある。その辺りも参考にしてもらえたら。場所の使い分けで分かることもあるし、学校に聞いてもらうのもいいと思う。
委員長	今回アンケート項目にスポーツの実施頻度を問う項目があったが、これは前回と比較できるよう配慮されていると思う。国の計画、県の計画を見た場合、最終的な目標値の設定が週に1回以上が〇%、1回の実施時間が30分以上などの基準が設けられている。今回はあくまで前回との比較とするか、今回は国県にならって策定するよう項目を設定するか、事務局の考えは。
事務局	前回と比較できることをメインに考えて作成しているが、国県との目標部分も取り入れることもできるかも知れない。検討してみる。
委員長	障害者の運動についても同様に目標設定があったと思う。
C委員	小学5年生の【問6】あなたは部活動が地域移行することを知っているかとの問いがあるが、ほぼ知らないと思う。6年生でも中1でも知らないと思う。学校単位で周知しないと回答が出ないのでは。
事務局	現状を知るための調査なので、結果を見て取り組んでいけたらと思う。

委員長	その他ご意見ないようであれば、次第 5 その他について事務局から。
事務局	特にない。
委員長	他に意見等なければ、本日の議事を終わらせていただきたい。 本日は第 1 回目の委員会ということで、事務局からスポーツ推進計画の策定に関する全般的な資料の提示と説明を受けた。今後の委員会では、さらに詳細な部分について検討していくことになる。引き続き活発な御意見をお願いしたい。
事務局	次回の委員会までに必要な資料や質問があれば、事務局まで連絡をいただきたい。

閉会